

# おかざきっ子 育ちプラン

## 岡崎市子ども・子育て支援事業計画 平成29年度 進捗状況報告書



岡崎市では、安心して子どもを産み、子育てに夢や希望をもつことができる社会の実現をめざして、平成27年3月に「おかざきっ子 育ちプラン（岡崎市子ども・子育て支援事業計画）」を策定し、子育て環境の整備を進めています。

本計画では、子ども・子育て支援新制度に基づく各種事業について具体的な目標事業量と確保の方策、実施時期を設定しています。これらの事業については、岡崎市子ども・子育て会議を評価機関として位置づけ、各年度において実施状況を点検・評価し、計画的な進行管理と事業の改善を行っていきます。

本書は、平成29年度の進捗状況についてとりまとめ報告するものです。

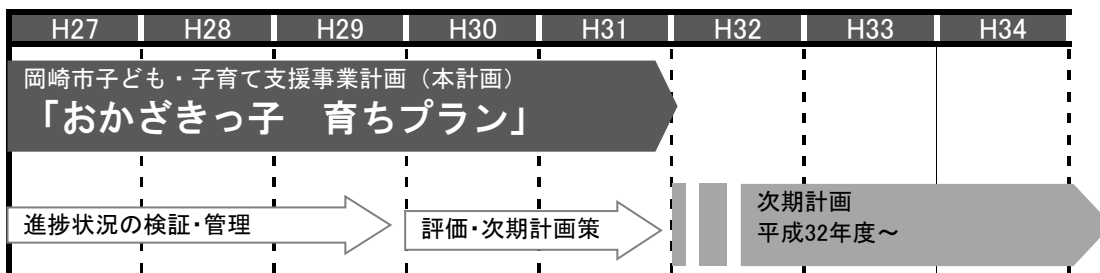
## 子ども・子育て支援新制度 と おかざきっ子 育ちプラン

急速な少子化の進行や、家庭・地域を取り巻く環境の変化など、子ども・子育てをめぐる様々な課題を解決するために、平成24年8月に「子ども・子育て支援法」が制定されました。

この法律と、関連する法律に基づいて、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援サービスの量の拡充や質の向上を進めていく「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月から本格的にスタートしました。

新制度においては、市町村が地域の子育て家庭の状況や、子育て支援へのニーズを把握し、5年間を計画期間とする「子ども・子育て支援事業計画」を定めることとされています。

岡崎市では計画を「おかざきっ子 育ちプラン」として定め、本市の実情に即した子育て環境の整備に取り組んでいます。



本計画の期間は、平成27年度から平成31年度までの5か年とし、定期的に進捗状況の検証を行い、社会情勢の変化などに応じ必要な見直しを行っていきます。

平成29年度は中間年の見直しを行い、計画と実績にかい離があった事業について、計画の変更を行いました。

計画書は岡崎市のホームページからご覧いただけます。

<http://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1563/1618/p018326.html>

## 進捗状況の点検・評価を行う事業

本計画では、子ども・子育て支援法に基づき「教育・保育」「地域子ども・子育て支援事業」の利用希望（量の見込み）を設定し、その提供体制の確保の内容及び実施時期を定めています。定期的に進捗管理を行う事業と計画期間での目標事業量は次のとおりです。

### 1 子ども・子育て支援給付(教育・保育事業)

#### 【認定の区分と提供施設】

新制度では、3つの区分の認定に応じて幼稚園や保育園、認定こども園などの利用先が決まります。

1号	2号	3号
3～5歳で 保育の必要性のない子ども (認定こども園・幼稚園)	3～5歳で 保育の必要性がある子ども (認定こども園・保育園)	0～2歳で 保育の必要性がある子ども (認定こども園・保育園・地域型保育)

	H25	H31	
	利用実績	見込み量	確保量
1号(3-5歳)※1	5,708	5,654	6,003
2号(3-5歳)※2	4,945	5,024	5,738
3号(1-2歳)	1,751	2,073	2,267
3号(0歳)	216	229	280

※1 2号認定の教育ニーズを含む

※2 教育ニーズを除く

### 2 地域子ども・子育て支援事業

			H25	H31	
事業名			利用実績	見込み量	確保量
(1)	時間外保育事業(人)		2,000	2,417	3,362
(2)	一時預かり事業	幼稚園(人日)	122,200	176,883	244,595
		保育園(人日)	5,528	5,689	18,720
(3)	地域子育て支援拠点事業(人日)		166,101	200,388	200,388
(4)	利用者支援事業	基本型(箇所)	-	6	6
		母子保健型(箇所)	-	1	1
(5)	病児・病後児保育(人日)		8	288	2,080
(6)	放課後児童健全育成事業	低学年(人)	1,829	2,581	3,249
		高学年(人)	218	668	※3
(7)	ファミリー・サポート・センター	就学前(人日)	3,761	6,208	6,208
		小学生(人日)	1,566	2,175	2,175
(8)	子育て短期支援事業(人日)		91		90
(9)	乳児家庭全戸訪問事業(人)		3,157		3,111
(10)	養育支援訪問事業	専門職訪問(世帯)	7		16
		ヘルパー派遣(世帯)	5		7
(11)	妊婦に対する健康診査(回)		49,998		49,000

※3 放課後子ども教室対応分389人を含む

# 1. 子ども・子育て支援給付 (教育・保育事業)



南部乳児保育園の外観と  
保育室



子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H29年度)

担当課	保育課
-----	-----

1 区分	1 子ども・子育て支援給付(教育・保育事業)
2 事業名	(1)保育事業
3 事業内容	保育園・認定こども園保育所機能部分での受入 2号認定:3~5歳 3号認定:0~2歳 保育園:53箇所(公立35・私立18)※保育所型認定こども園2箇所を含む
4 計画策定時の現況	平成21年度から平成25年度にかけて、3歳児以上の利用はほぼ横ばいとなっているものの、1~2歳児の利用は増加傾向で推移している。
5 計画内容	・既存の保育園の建替えによる定員増や公立幼稚園の認定こども園への移行等により提供体制を確保する。 ・地域型保育事業については、状況の変化にともない各区域内の保育需要が著しく増加する場合などにその都度、対応を検討する。

6 計画値と実績値

2号認定(単位:人)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み(必要利用定員総数)	/	5,219	5,210	5,161	5,074	5,024
	確保の内容(保育園・認定こども園)		5,474	5,478	5,558	5,648	5,738
	過不足		255	268	397	574	714
実績	保育園・認定こども園 児童数	5,060	5,186	5,209	5,170		
	自己評価	/	A	A	A		

3号認定(1・2歳)(単位:人)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み(必要利用定員総数)	/	2,151	2,127	2,107	2,092	2,073
	確保の内容(保育園・認定こども園)		2,246	2,267	2,267	2,267	2,267
	過不足		95	140	160	175	194
実績	保育園・認定こども園 児童数	1,779	1,933	1,982	2,096		
	自己評価	/	A	A	A		

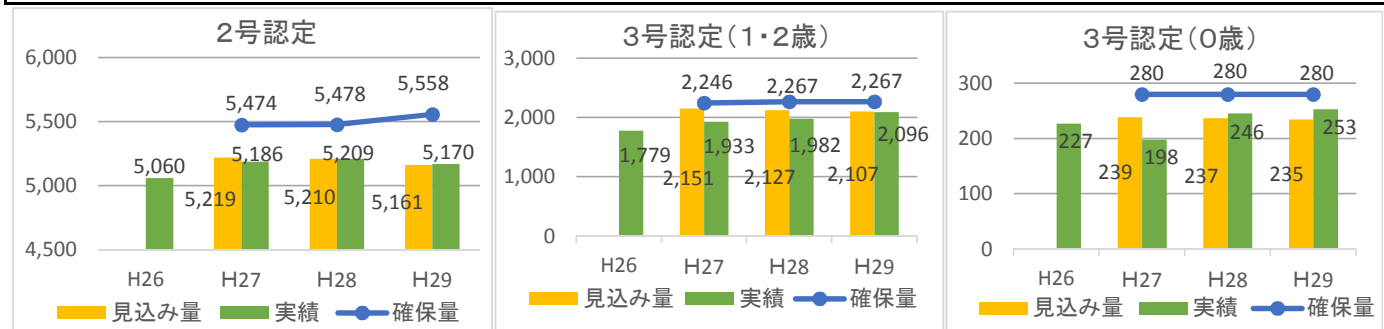
3号認定(0歳)(単位:人)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み(必要利用定員総数)	/	239	237	235	232	229
	確保の内容(保育園・認定こども園)		280	280	280	280	280
	過不足		41	43	45	48	51
実績	保育園・認定こども園 児童数	227	198	246	253		
	自己評価	/	A	A	A		

0~2歳の保育利用率(単位:%)		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画値(利用定員/推計人口)	/		22.1	22.5	22.7	22.9	23.1
実績値(利用者数/年齢人口)		17.8	18.9	20.0	21.2		

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞  
※各年度10月1日現在

7 評価と今後の方向性

- ・計画どおり提供体制が確保できている状況です。
- ・平成29年度は、城北・六名南・奈良井・福岡・緑丘・藤川・本宿・百々・六ツ美西の9保育園で、入所定員を合わせて100人増員しました。
- ・3歳未満児の保育ニーズに即応するための暫定保育園の設置(南部乳児保育園、平成30年度開園)や既存保育園の増改築等を通じ、増加する保育ニーズに引き続き対応していきます。



## 区域別保育園利用状況(10月1日現在)

### 中央区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	1,573	1,597	1,628	1,603		
1-2歳	587	643	640	663		
0歳	70	71	87	89		
計	2,230	2,311	2,355	2,355		
受入定員	2,430	2,460	2,490	2,515		
施設数	15	15	15	15		
備考						
・城北・六名南・奈良井保育園 定員増(+25)						

### 岩津区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	671	669	650	661		
1-2歳	222	231	263	286		
0歳	21	24	26	19		
計	914	924	939	966		
受入定員	940	990	1,010	1,025		
施設数	6	6	6	6		
備考						
・百々保育園 定員増(+15)						

### 岡崎区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	574	603	610	603		
1-2歳	229	258	256	265		
0歳	30	20	21	33		
計	833	881	887	901		
受入定員	850	880	895	910		
施設数	5	5	5	5		
備考						
・福岡保育園 定員増(+15)						

### 矢作区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	696	725	723	716		
1-2歳	272	286	298	330		
0歳	35	34	44	41		
計	1,003	1,045	1,065	1,087		
受入定員	1,110	1,110	1,135	1,135		
施設数	7	7	7	7		
備考						

### 大平区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	520	527	545	522		
1-2歳	176	189	175	183		
0歳	30	19	24	23		
計	726	735	744	728		
受入定員	780	780	790	800		
施設数	5	5	5	5		
備考						
・緑丘保育園定員増(+10)						

### 六ツ美区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	648	654	672	670		
1-2歳	187	225	231	242		
0歳	26	18	28	31		
計	861	897	931	943		
受入定員	960	960	960	975		
施設数	6	6	6	6		
備考						
・六ツ美西保育園定員増(+15)						

### 東部区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	261	285	258	276		
1-2歳	79	66	90	90		
0歳	9	11	10	10		
計	349	362	358	376		
受入定員	410	410	410	430		
施設数	4	4	4	4		
備考						
・藤川・本宿保育園 定員増(+20)						

### 額田区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	117	126	123	119		
1-2歳	27	35	29	37		
0歳	6	1	6	7		
計	150	162	158	163		
受入定員	240	250	250	250		
施設数	5	5	5	5		
備考						

# 子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H29年度)

担当課 保育課

1 区分	1 子ども・子育て支援給付(教育・保育事業)
2 事業名	(2)教育事業
3 事業内容	幼稚園・認定こども園幼稚園機能部分での受入 幼稚園:私立22箇所 認定こども園:公立5箇所(幼保連携型3、保育所型2)
4 計画策定時の現況	平成21年度から平成25年度にかけて、増加傾向で推移 市外幼稚園への通園者も増加している。
5 計画内容	・現行の提供体制により、今後の量の見込みを確保できる予定 ・公立幼稚園については平成29年度から幼保連携型認定こども園に移行する。

## 6 計画値と実績値

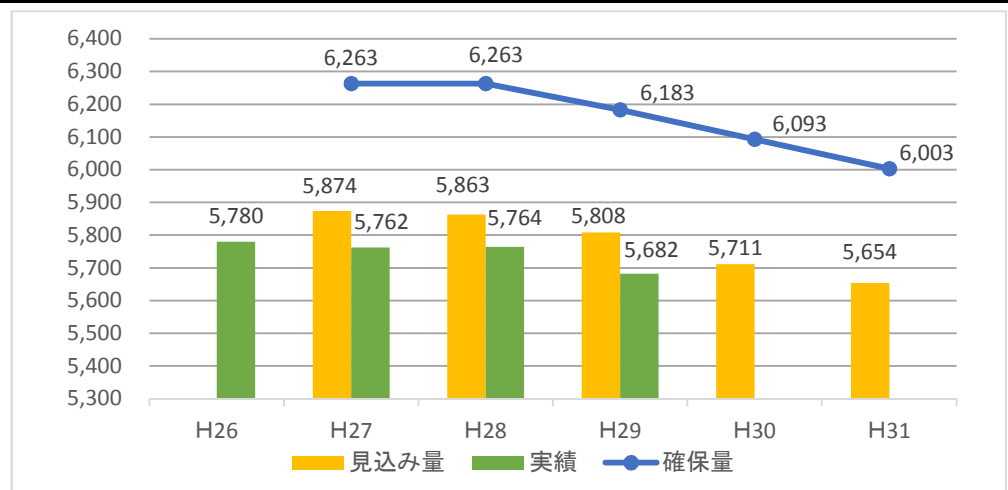
(単位:人)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み(必要利用定員総数)	/	5,874	5,863	5,808	5,711	5,654
	1号認定		4,352	4,344	4,303	4,231	4,189
	2号認定(教育ニーズ)		1,522	1,519	1,505	1,480	1,465
	確保の内容(幼稚園・認定こども園)		6,263	6,263	6,183	6,093	6,003
	過不足		389	400	375	382	349
実績	幼稚園・認定こども園 児童数	5,780	5,762	5,764	5,682		
	公立幼稚園	487	473	443	0		
	私立幼稚園	5,237	5,247	5,281	5,260		
	認定こども園	56	42	40	422		
	自己評価	/	A	A	A		

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞  
※各年度5月1日現在

## 7 評価と今後の方向性

・計画どおり提供体制を確保できている状況です。  
・公立幼稚園3園は、平成29年度から幼保連携型認定こども園に移行しました。当該認定こども園では、平成31年度までの3年間で段階的に2号認定の児童の受入れを増加していきます。



## 2. 地域子ども・子育て支援事業



改築した豊富児童育成センターと  
開所式の様子





# 子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H29年度)

担当課 保育課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(1)時間外保育(延長保育)事業
3 事業内容	8時～17時30分を超えて保育を行う事業 実施園 7時～19時開設 36箇所(H26) ⇒ 42箇所(H29) 7時～22時開設 1箇所
4 計画策定時の現況	利用実績が増加傾向にある。全入所児童数の約30%が利用している。
5 計画内容	実施園を順次拡大し、提供体制を確保していく。

## 6 計画値と実績値

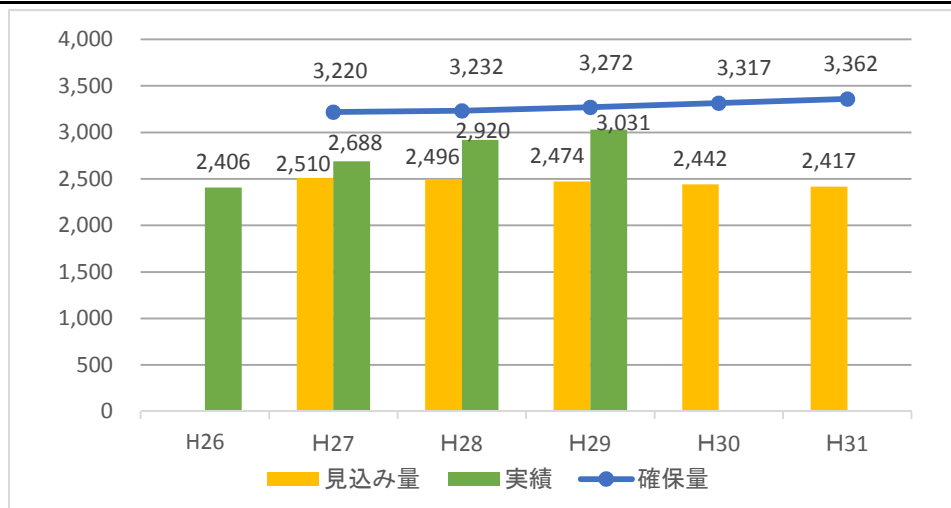
(単位:人)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み	/	2,510	2,496	2,474	2,442	2,417
	確保の内容		3,220	3,232	3,272	3,317	3,362
	過不足		39園	39園	42園	42園	42園
実績	利用児童数	2,406	2,688	2,920	3,031		
	7時～18時 利用者	/	1,026	1,214	1,363		
	7時～19時 利用者	2,399	1,653	1,699	1,661		
	7時～22時 利用者	7	9	7	7		
	実施施設数	36園	39園	41園	42園		
	自己評価	/	A	A	A		

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

## 7 評価と今後の方向性

- ・利用者が見込み量を超えたものの、計画どおり提供体制を確保できている状況です。
- ・平成29年度から福岡保育園で7時～19時の保育を新たに実施しました。
- ・平成30年度は南部乳児保育園で新たに事業を開始するなど、高まる保育ニーズに対応していきます。



# 区域別 時間外保育利用状況

単位(人)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31	
中央 区域	計画	量の見込み		733	735	728	719	715
		確保の内容		1,145 14園	1,145 14園	1,175 16園	1,205 16園	1,235 16園
		過不足		412	410	447	486	520
	実績	利用者数	852	937	1036	1026		
		実施施設数	13 園	14 園	14 園	14 園		
岡崎 区域	計画	量の見込み		433	432	425	415	404
		確保の内容		360 4園	360 4園	360 4園	360 4園	360 4園
		過不足		-73	-72	-65	-55	-44
	実績	利用者数	347	407	434	472		
		実施施設数	4 園	4 園	4 園	5 園		
大平 区域	計画	量の見込み		188	186	185	184	185
		確保の内容		330 4園	330 4園	330 4園	330 4園	330 4園
		過不足		142	144	145	146	145
	実績	利用者数	192	210	256	282		
		実施施設数	4 園	4 園	5 園	5 園		
東部 区域	計画	量の見込み		109	105	104	100	98
		確保の内容		140 2園	140 2園	140 2園	140 2園	140 2園
		過不足		31	35	36	40	42
	実績	利用者数	87	103	101	105		
		実施施設数	2 園	2 園	3 園	3 園		
岩津 区域	計画	量の見込み		344	343	344	340	339
		確保の内容		455 5園	462 5園	462 5園	462 5園	462 5園
		過不足		111	119	118	122	123
	実績	利用者数	326	361	390	392		
		実施施設数	4 園	5 園	5 園	5 園		
矢作 区域	計画	量の見込み		394	385	380	377	374
		確保の内容		355 4園	360 4園	370 5園	385 5園	400 5園
		過不足		-39	-25	-10	8	26
	実績	利用者数	355	372	371	402		
		実施施設数	4 園	4 園	4 園	4 園		
六ツ美 区域	計画	量の見込み		274	276	274	273	270
		確保の内容		360 4園	360 4園	360 4園	360 4園	360 4園
		過不足		86	84	86	87	90
	実績	利用者数	213	256	293	310		
		実施施設数	3 園	4 園	4 園	4 園		
額田 区域	計画	量の見込み		35	34	34	34	32
		確保の内容		75 2園	75 2園	75 2園	75 2園	75 2園
		過不足		40	41	41	41	43
	実績	利用者数	34	42	39	42		
		実施施設数	2 園	2 園	2 園	2 園		

# 子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H29年度)

担当課 保育課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(2)一時預かり事業
3 事業内容	<p>【幼稚園】 在園児を教育時間後や長期休業中に保護者の希望に応じて預かる事業 私立幼稚園のうち15園で実施 ⇒ 認定こども園での事業開始により18園で実施(H29)</p> <p>【保育園】 保護者の就労、疾病、出産又は育児疲れの解消などのため一時的に保育を実施する事業 市内17園で実施 ⇒ 19園(H28)</p>
4 計画策定時の現況	保育園の利用実績は年々増加傾向にあり、平成25年度は、対平成21年度比で40%増となっている。 中央、岩津、矢作区域で利用が多くなっている。
5 計画内容	<p>【幼稚園】在園児を対象としたサービスであることから、各幼稚園で今後の量の見込みを確保できる予定</p> <p>【保育園】平成27年度に実施園を1園増やし、18園で提供体制を確保する。</p>

## 6 計画値と実績値

(単位:人日)

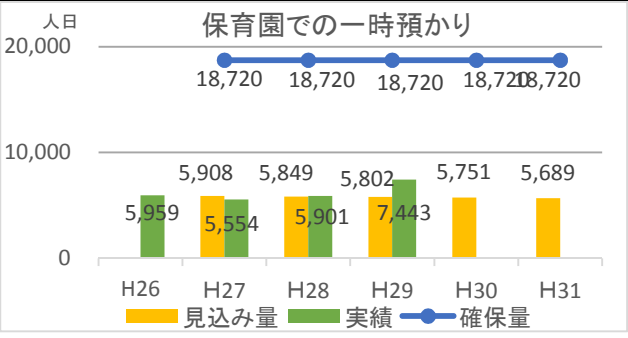
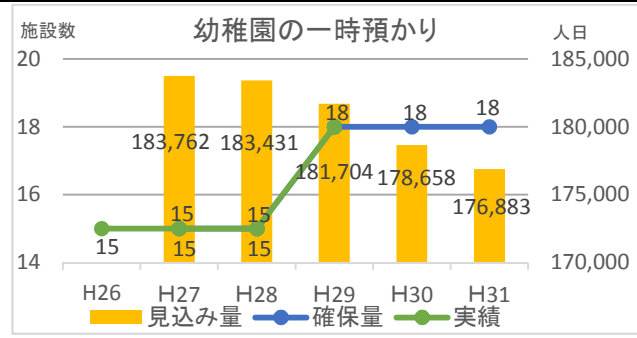
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み(必要利用定員総数)	/	183,762	183,431	181,704	178,658	176,883
	確保の内容		15園	15園	18園	18園	18園
実績	実施施設数	15園	15園	15園	18園		
	自己評価	/	A	A	A		

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み(必要利用定員総数)	/	5,908	5,849	5,802	5,751	5,689
	確保の内容		18,720	18,720	18,720	18,720	18,720
	過不足		18園	18園	18園	18園	18園
			12,812	12,871	12,918	12,969	13,031
実績	保育園 児童数	5,959	5,554	5,901	7,443		
	実施施設数	17園	18園	19園	19園		
	自己評価	/	A	A	A		

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

## 7 評価と今後の方向性

- ・計画どおり提供体制を確保できている状況です。
- ・平成29年度は、公立幼稚園から幼保連携型認定こども園に移行した3園において新たに事業を開始し、提供体制の充実を図りました。
- ・平成30年度は、私立保育園1園で新たに事業を開始するなど、引き続き提供体制の確保に努めていきます。



区域別 保育園における一時預かり 利用状況

単位(人)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31	
中央 区域	計画	量の見込み		1,717	1,707	1,697	1,693	1,682
		確保の内容		4,160 4園	4,160 4園	4,160 4園	4,160 4園	4,160 4園
		過不足		2,443	2,453	2,463	2,467	2,478
	実績	利用者数	1,817	1,144	1,000	1,649		
		実施施設数	4園	4園	4園	4園		
岡崎 区域	計画	量の見込み		1,039	996	983	968	952
		確保の内容		2,080 2園	2,080 2園	2,080 2園	2,080 2園	2,080 2園
		過不足		1,041	1,084	1,097	1,112	1,128
	実績	利用者数	678	682	842	945		
		実施施設数	2園	2園	2園	2園		
大平 区域	計画	量の見込み		427	437	433	429	424
		確保の内容		1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園
		過不足		613	603	607	611	616
	実績	利用者数	354	345	273	510		
		実施施設数	1園	1園	1園	1園		
東部 区域	計画	量の見込み		218	218	213	208	202
		確保の内容		1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園
		過不足		822	822	827	832	838
	実績	利用者数	355	114	106	208		
		実施施設数	1園	1園	1園	1園		
岩津 区域	計画	量の見込み		793	793	791	789	785
		確保の内容		4,160 4園	4,160 4園	4,160 4園	4,160 4園	4,160 4園
		過不足		3,367	3,367	3,369	3,371	3,375
	実績	利用者数	1,003	1,174	1,261	1,721		
		実施施設数	3園	4園	4園	4園		
矢作 区域	計画	量の見込み		986	982	971	961	950
		確保の内容		2,080 2園	2,080 2園	2,080 2園	2,080 2園	2,080 2園
		過不足		1,094	1,098	1,109	1,119	1,130
	実績	利用者数	1,278	1,496	1,093	739		
		実施施設数	2園	2園	2園	2園		
六ツ美 区域	計画	量の見込み		674	667	663	657	649
		確保の内容		3,120 3園	3,120 3園	3,120 3園	3,120 3園	3,120 3園
		過不足		2,446	2,453	2,457	2,463	2,471
	実績	利用者数	428	519	1,088	1,445		
		実施施設数	3園	3園	4園	4園		
額田 区域	計画	量の見込み		54	49	47	46	45
		確保の内容		1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園
		過不足		986	991	993	994	995
	実績	利用者数	46	80	238	226		
		実施施設数	1園	1園	1園	1園		

子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H29年度)

担当課 保育課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(3)地域子育て支援拠点事業
3 事業内容	就園前の子どもを持つ子育て家庭の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供する事業 <実施場所> 総合子育て支援センター 地区子育て支援センター 5箇所 つどいの広場(岡崎げんき館・各地域交流センター) 5箇所(H26)⇒6箇所(H27)
4 計画策定時の現況	「つどいの広場」の施設整備に伴い、利用実績は年々増加傾向にある。
5 計画内容	平成27年度に地域交流センター六ツ美分館につどいの広場を開設し、計12施設で提供体制を確保する。

6 計画値と実績値

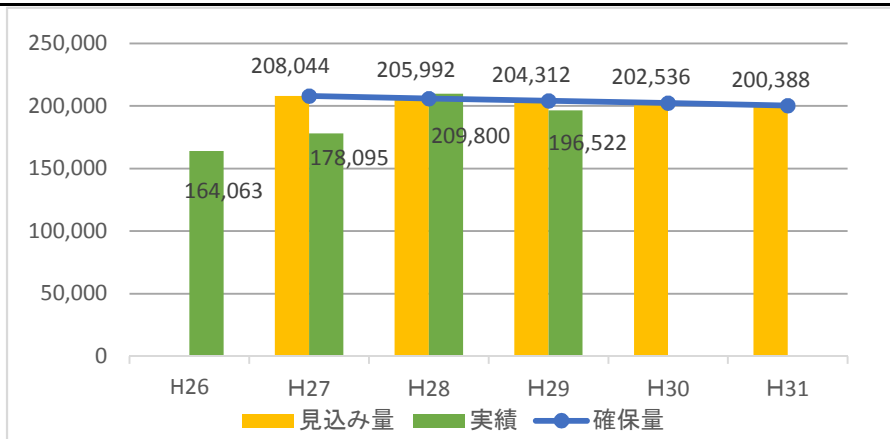
(単位:人日)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み(年間値)	/	208,044	205,992	204,312	202,536	200,388
	確保の内容(年間値)		208,044	205,992	204,312	202,536	200,388
実績	利用者数	164,063	178,095	209,800	196,522		
	総合子育て支援センター	25,655	28,144	36,593	31,466		
	地区子育て支援センター	2,378	3,378	17,470	21,034		
	つどいの広場	136,030	146,573	155,737	144,022		
	実施施設数	11箇所	12箇所	12箇所	12箇所		
	自己評価	/	A	A	A		

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

・計画どおり提供体制を確保できている状況です。  
 ・総合子育て支援センター及びつどいの広場では若干利用者が減少していますが、地区子育て支援センターは利用者が増加していることから、身近な地域での子育て支援の場の利用が促進されており、引き続き利用者のニーズへ対応していきます。



子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H29年度)

		担当課	保育課・健康増進課			
1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業					
2 事業名	<b>(4)利用者支援事業</b>					
3 事業内容	子育て中の親子の身近な場所において、利用者支援専門員を配置し、教育・保育・保健や地域の子育て支援事業などの情報提供や、相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業 【基本型】:教育・保育施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう身近な場所で寄り添い型の支援を行うもの 【母子保健型】:妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、助産師、保健師等が専門的な見地から相談支援を実施するもの					
4 計画策定時の現況	未実施					
5 計画内容	平成28年度から総合子育て支援センターで基本型を、保健所で母子保健型を実施 ※母子保健型については、H28.1.29付けで計画に新たに位置付けた。 ※基本型について、H28.11.1付けで平成29年度以降の実施箇所数を増やした。					
6 計画値と実績値						
(単位:箇所)						
<b>基本型</b>		H27	H28	H29	H30	H31
計画値	実施施設数	0	1	6	6	6
実績	実施施設数	0	1	6		
	自己評価	A	A	A		
<b>母子保健型</b>		H27	H28	H29	H30	H31
計画値	実施施設数	0	1	1	1	1
実績	実施施設数	0	1	1		
	自己評価	A	A	A		
※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞						
7 評価と今後の方向性						
<b>【基本型】</b> ・計画どおり平成29年度から5箇所の地区子育て支援センターで利用者支援事業を開始し、より身近な場所で子育てに関する支援が受けられるよう体制を整えました。今後も総合子育て支援センターを含む6箇所で継続実施していきます。 <b>【母子保健型】</b> ・平成29年度からは転入の妊婦・産婦も面接対象に加え、相談体制の強化を図りました。 ・支援が必要な妊産婦については方針に従い支援を開始していくが、連絡が取れないなど支援時期に妊産婦の状況が把握できない事例があり、今後、どのように状況把握するか体制を整える必要があります。						

子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H29年度)

担当課 保育課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(5)病児・病後児保育事業
3 事業内容	症状の急変は認められないものの、病気の回復期に至っていない子ども、あるいは、病気の回復期にあり、まだ集団保育等が困難な子どもを一時的に預かる事業 八帖保育園、岡崎げんき館の2箇所で開催(病後児保育のみ)
4 計画策定時の現況	利用実績は年度によりばらつきがある。
5 計画内容	・病後児保育は、現行の提供体制により、今後の量の見込みを確保できる予定 ・病児保育については、医療機関併設型の病児保育施設の設置について検討を進める。

6 計画値と実績値

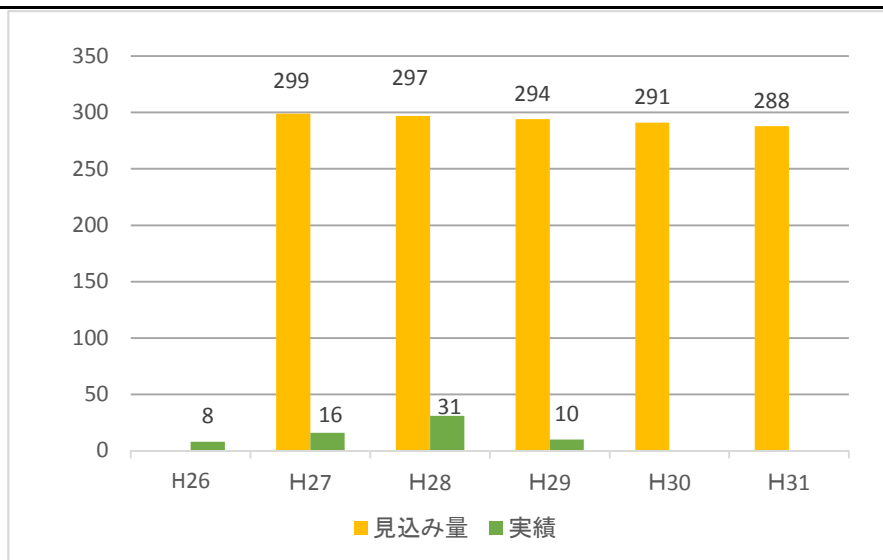
(単位:人日)

病後児保育		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み	/	299	297	294	291	288
	確保の内容		2,080	2,080	2,080	2,080	2,080
			2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所
実績	利用児童	8	16	31	10		
	実施施設数	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所		
	自己評価	/	B	B	B		

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

- ・病後児保育については計画どおり提供体制を確保できている状況です。  
平成27年度から病後児保育について、保育園の入園案内等にお知らせを掲載し周知を図っています。  
八帖保育園では、平成29年度から利用時間を拡大(16時まで→17時30分まで)して実施しています。
- ・病児保育については、引き続き関係団体と協議を続けていきます。



# 子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H29年度)

担当課 こども育成課

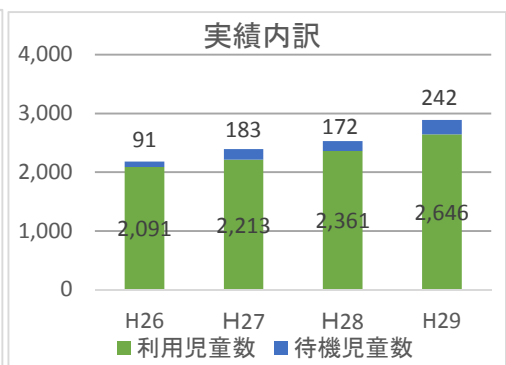
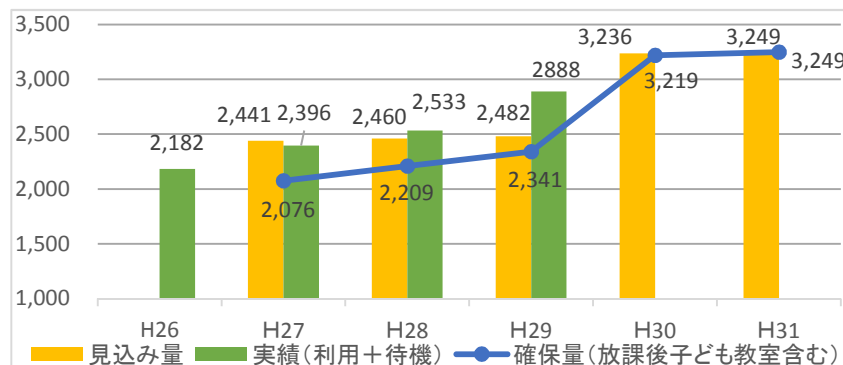
1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(6)放課後児童健全育成事業
3 事業内容	保護者が就労等により昼間、家庭にいない小学生を対象に、遊びと生活の場を与える放課後の居場所を提供し、児童の健全育成を図る事業 実施施設 児童育成センター 34箇所⇒41箇所(H29) 民間児童クラブ 9箇所⇒8箇所(H29)
4 計画策定時の現況	法改正により4年生以上の高学年も利用対象に明確に位置づけられたことや女性の就労状態の変化、子どもを取り巻く社会環境の安全面への不安などから、今後の利用の増加が見込まれる。
5 計画内容	待機児童が多く生じると予想される学区や老朽化した施設を活用しているクラブのある学区など、合計17クラブの整備を予定 施設の不足する学区においては、暫定的に1つのクラブを2グループの支援の単位に分割するなどし、安全を確保できる範囲で定員増を図る。

6 計画値と実績値		(単位:人)					
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み	/	2,441	2,460	2,482	3,236	3,249
	低学年		2,055	2,057	2,075	2,577	2,581
	高学年		386	403	407	659	668
	確保の内容(予定利用者数合計)		2,035	2,165	2,274	2,761	2,860
	放課後子ども教室対応		43箇所	47箇所	52箇所	53箇所	58箇所
	過不足		-365	-251	-141	-17	0
実績	放課後児童クラブ 利用児童数	2,091	2,213	2,361	2,646		
	低学年	1,880	1,905	1,966	2,163		
	高学年	211	308	395	483		
	待機児童数	91	183	172	242		
	低学年	91	131	113	157		
	高学年	0	52	59	85		
	実施施設数	43箇所	43箇所	45箇所	49箇所		
	自己評価	/	B	B	B		

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞  
※各年度5月1日現在

## 7 評価と今後の方向性

- ・利用希望者が近年著しく増えており、事業供給量が不足している状態です。
- ・平成29年度は、細川、六ツ美北部、北野、常磐学区にクラブを整備し、平成30年度の受入定員を200名増やしました。
- ・平成30年度は、六名学区に2室、男川学区にそれぞれクラブを整備し、平成31年度の受入定員を130名増やします。
- ・クラブの設置を進めるため、市長と教育委員会の間で教室利用についての確認書を取り交わし、また放課後子ども総合プラン運営委員会を立ち上げ、子どもたちの放課後のあり方について検討を行いました。
- ・今後も計画をもとに、実際の地域ニーズを踏まえながら必要な整備を行い、提供体制の拡充を図ります。





学区別の利用状況(クラブ利用者のいる学区のみ)

		利用者						待機児童数					
		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H26	H27	H28	H29	H30	H31
梅園	低	65	65	64	92			2	0	5	6		
	高	0	1	3	10			0	0	1	3		
	計	65	66	67	102			2	0	6	9		
根石	低	38	41	41	47			0	0	0	0		
	高	17	18	24	32			0	0	0	0		
	計	55	59	65	79			0	0	0	0		
男川	低	65	63	65	61			9	14	15	16		
	高	0	2	2	4			0	9	5	9		
	計	65	65	67	65			9	23	20	25		
美合	低	43	38	34	33			0	0	0	5		
	高	12	15	25	17			0	0	0	6		
	計	55	53	59	50			0	0	0	11		
緑丘	低	57	60	61	66			0	4	9	22		
	高	1	7	5	2			0	0	6	5		
	計	58	67	66	68			0	4	15	27		
羽根	低	63	72	71	76			0	8	2	11		
	高	13	7	10	6			0	4	9	15		
	計	76	79	81	82			0	12	11	26		
岡崎	低	77	67	70	77			3	21	12	0		
	高	4	14	10	9			0	7	0	0		
	計	81	81	80	86			3	28	12	0		
六名	低	79	86	103	119			0	0	5	0		
	高	6	10	12	27			0	0	2	0		
	計	85	96	115	146			0	0	7	0		
三島	低	53	47	49	50			0	0	0	3		
	高	4	8	11	15			0	0	0	3		
	計	57	55	60	65			0	0	0	6		
竜美丘	低	65	66	68	78			20	20	7	0		
	高	0	0	0	4			0	4	2	0		
	計	65	66	68	82			20	24	9	0		
連尺	低	55	63	55	65			0	4	0	5		
	高	11	4	10	6			0	1	0	8		
	計	66	67	65	71			0	5	0	13		
広幡	低	61	59	66	67			0	15	23	26		
	高	18	13	15	14			0	9	1	0		
	計	79	72	81	81			0	24	24	26		
井田	低	130	122	121	118			26	15	0	0		
	高	0	8	27	32			0	12	0	0		
	計	130	130	148	150			26	27	0	0		
愛宕	低	13	17	11	17			0	0	0	0		
	高	4	7	13	12			0	0	0	0		
	計	17	24	24	29			0	0	0	0		
福岡	低	68	73	69	73			0	0	0	0		
	高	31	34	36	44			0	0	0	0		
	計	99	107	105	117			0	0	0	0		
竜谷	低	0	1	1	3			0	0	0	0		
	高	0	0	0	0			0	0	0	0		
	計	0	1	1	3			0	0	0	0		
藤川	低	21	26	28	25			0	0	0	0		
	高	6	9	16	17			0	0	0	0		
	計	27	35	44	42			0	0	0	0		
山中	低	30	35	29	37			0	0	0	0		
	高	1	2	4	12			0	0	0	0		
	計	31	37	33	49			0	0	0	0		

		利用者						待機児童数					
		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H26	H27	H28	H29	H30	H31
本宿	低	39	37	42	39			0	0	0	1		
	高	1	3	3	11			0	0	0	1		
	計	40	40	45	50			0	0	0	2		
細川	低	63	61	64	81			0	2	15	10		
	高	1	5	3	9			0	1	10	10		
	計	64	66	67	90			0	3	25	20		
岩津	低	57	61	49	50			0	2	0	1		
	高	1	3	15	15			0	0	0	1		
	計	58	64	64	65			0	2	0	2		
大樹寺	低	31	28	53	65			0	0	0	3		
	高	5	9	7	14			0	0	0	3		
	計	36	37	60	79			0	0	0	6		
大門	低	52	60	75	81			0	0	0	0		
	高	0	6	10	14			0	0	0	0		
	計	52	66	85	95			0	0	0	0		
矢作東	低	50	60	58	54			0	0	0	0		
	高	29	25	17	31			0	0	0	0		
	計	79	85	75	85			0	0	0	0		
矢作北	低	65	62	57	57			0	6	0	9		
	高	1	7	10	9			0	0	0	4		
	計	66	69	67	66			0	6	0	13		
矢作西	低	33	33	42	42			0	0	0	0		
	高	3	4	6	5			0	0	0	0		
	計	36	37	48	47			0	0	0	0		
矢作南	低	79	80	65	80			7	9	15	0		
	高	5	6	0	11			0	1	7	0		
	計	84	86	65	91			7	10	22	0		
六美中	低	12	17	15	24			0	0	0	0		
	高	5	5	12	8			0	0	0	0		
	計	17	22	27	32			0	0	0	0		
六美北	低	64	60	58	61			6	9	1	12		
	高	0	5	7	4			0	4	7	9		
	計	64	65	65	65			6	13	8	21		
六美南	低	65	53	55	51			1	0	0	5		
	高	0	11	8	15			0	0	0	0		
	計	65	64	63	66			1	0	0	5		
城南	低	31	27	29	46			0	0	0	0		
	高	0	0	4	2			0	0	0	0		
	計	31	27	33	48			0	0	0	0		
上地	低	76	84	84	92			0	0	0	5		
	高	12	20	24	30			0	0	0	0		
	計	88	104	108	122			0	0	0	5		
小豆坂	低	43	56	60	64			0	0	1	6		
	高	9	13	11	13			0	0	5	3		
	計	52	69	71	77			0	0	6	9		
北野	低	51	44	51	60			0	0	2	6		
	高	9	15	14	5			0	0	4	4		
	計	60	59	65	65			0	0	6	10		
六美西	低	65	60	80	83			17	2	0	5		
	高	0	5	14	17			0	0	0	1		
	計	65	65	94	100			17	2	0	6		
豊富	低	21	21	23	29			0	0	1	0		
	高	2	7	7	7			0	0	0	0		
	計	23	28	30	36			0	0	1	0		
計	低	1,880	1,905	1,966	2,163			91	131	113	157		
	高	211	308	395	483			0	52	59	85		
	計	2,091	2,213	2,361	2,646			91	183	172	242		

子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H29年度)

担当課 家庭児童課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(7)子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)
3 事業内容	育児の援助を行いたい人と援助を受けたい人を会員として登録し、相互援助活動の紹介を行う事業 総合子育て支援センターで実施 ⇒ 家庭児童課で実施(H28～)
4 計画策定時の現況	利用状況は依頼会員、援助会員ともに増加傾向にあり、利用実績も増えている。 就学前児童の利用に関しては、5年間で約2倍に増加している。 小学生の利用に関しては、放課後児童健全育成事業などの広がりもあり、「帰宅後の預かり」が減少し、送迎のニーズが増えている傾向
5 計画内容	援助会員のさらなる増加に努め、増大するニーズに対応できる提供体制を維持します。

6 計画値と実績値

(単位:人)

就学前児童

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み	/	8,580	8,551	8,504	8,444	8,383
	就学前児童		6,450	6,407	6,353	6,270	6,208
	小学生		2,130	2,144	2,151	2,174	2,175
実績	利用実績	4,613	4,776	5,515	5,964		
	就学前児童	3,335	3,313	3,556	3,261		
	小学生	1,278	1,463	1,959	2,703		
	自己評価	/	A	A	A		

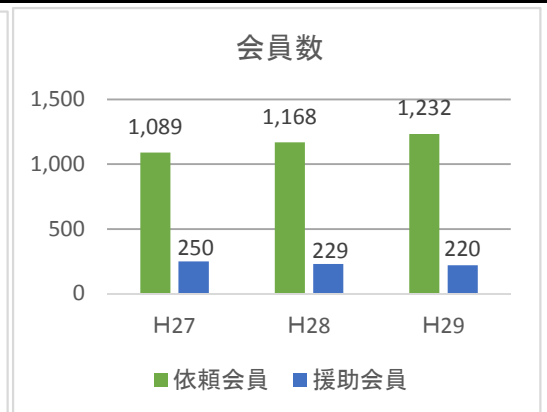
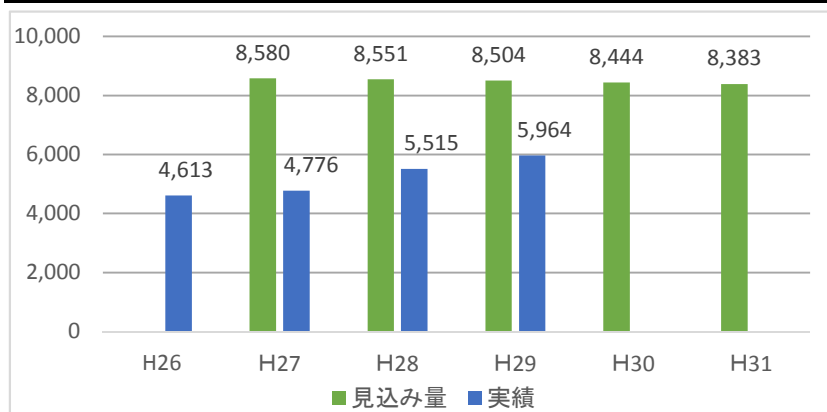
会員数

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
依頼会員		1,018	1,089	1,168	1,232		
援助会員		252	250	229	220		
	援助会員	152	166	148	139		
	両会員	100	84	81	81		

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

- ・利用人数は年度により異なるものの、計画どおり提供体制を確保できている状況です。
- ・仕事等と育児を両立できる環境整備、地域の子育て支援のため事業を実施していきます。



子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H29年度)

担当課 家庭児童課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(8)子育て短期支援事業(ショートステイ)
3 事業内容	保護者が病気や出産、看護などで養育が一時的に困難になった場合に、1週間以内を原則として児童養護施設等で宿泊を伴う一時預かりを行う事業 施設数 5箇所(市内3箇所、市外2箇所)
4 計画策定時の現況	利用日数及び利用者数は、年度によって異なっている。 臨時的需要の事業であるものの、一定の利用ニーズがある。
5 計画内容	現行の提供体制により、今後の量の見込みを確保できる予定

6 計画値と実績値

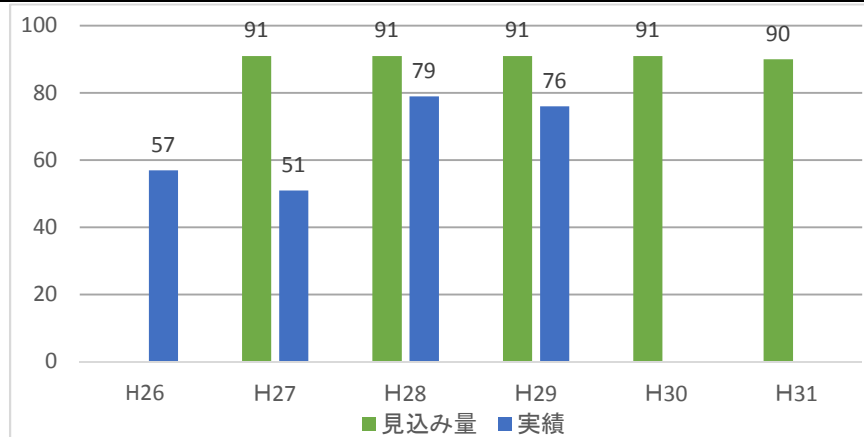
(単位:人日)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み	/	91	91	91	91	90
	確保の内容		5施設	5施設	5施設	5施設	5施設
実績	利用実績	57	51	79	76		
	契約施設数	5施設	5施設	5施設	5施設		
	自己評価	/	A	A	A		

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

- ・利用日数は年度により異なるものの、計画どおり提供体制を確保できている状況です。
- ・支援が必要な家庭がサービス提供を受けられるよう、引き続き事業周知に努めるとともに、様々な家庭のニーズにも柔軟に対応できるよう受け入れ施設との連携を図り事業を進めていきます。



子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H29年度)

担当課 家庭児童課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(9)乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)
3 事業内容	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報の提供、親子の心身の状況や養育環境などの把握・助言を行う事業 こんにちは赤ちゃん訪問員(保育士)6人で実施
4 計画策定時の現況	訪問率は平成24年度以降、98%以上で推移している。また、未訪問家庭の追跡調査や他事業との連携(3歳児健診未受診・未就園児童を対象とする家庭訪問・保育園巡回)により、子どもの養育状況の把握に努めている。
5 計画内容	現行の提供体制により、今後の量の見込みを確保できる予定

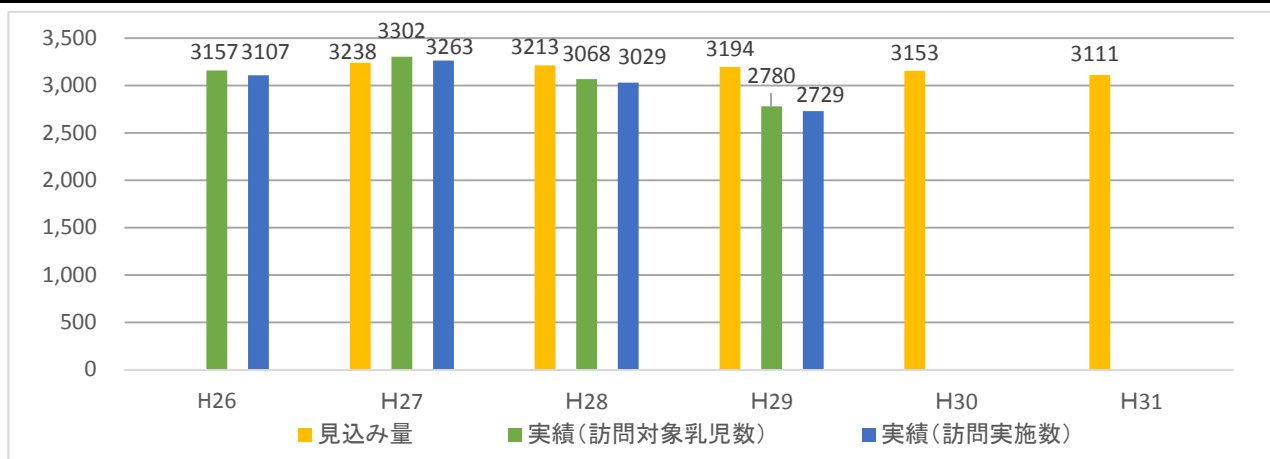
6 計画値と実績値

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み (訪問員による訪問対象乳児数)	/	3,238	3,213	3,194	3,153	3,111
実績	訪問対象乳児数	3,157	3,302	3,068	2,780		
	訪問実施数	3,107	3,263	3,029	2,729		
	訪問率	98.4%	98.8%	98.7%	98.2%		
	自己評価	/	A	A	A		

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

・乳児の健全な育成環境の確保に貢献でき、高い訪問率を達成している状況です。  
 ・事業の実施年経過につれ、二子目との理由で訪問拒否など受入れの低下が予想されるため、今後も訪問拒否家庭等に対し丁寧に事業の目的を説明し、協力が得られるように努めていきます。



子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H29年度)

担当課 家庭児童課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(10)養育支援訪問事業
3 事業内容	乳児家庭全戸訪問事業や母子保健事業、関係機関からの連絡等により、養育支援が特に必要と判断した家庭に対し、保健師等がその居宅を訪問し、養育に関する相談・指導、助言や家事援助等を行う事業
4 計画策定時の現況	専門職による訪問が必要な世帯は増加傾向にあるものの、受け入れが難しい世帯が多くなっている。
5 計画内容	現行の提供体制により、今後の量の見込みを確保できる予定

6 計画値と実績値

専門職訪問(養育相談等)

			H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み	対象世帯数	/	16	16	16	16	16
		延べ回数	/	98	98	98	98	98
-----			-----			-----		
実績	対象世帯数		25	27	20	19		
	延べ回数		185	215	187	163		
自己評価		/	A	A	A			

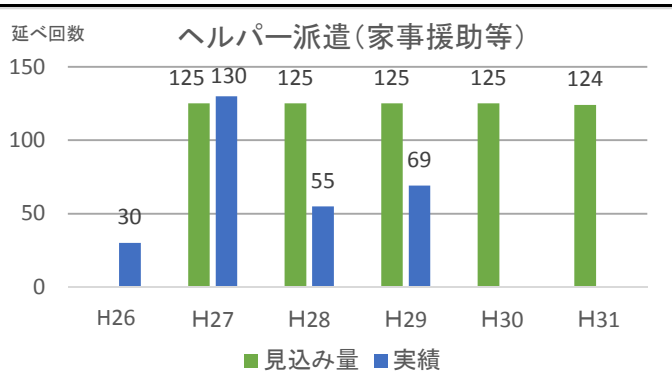
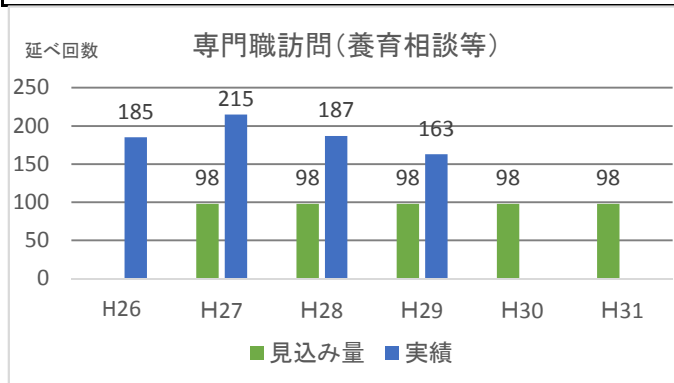
ヘルパー派遣(家事援助等)

			H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み	対象世帯数	/	7	7	7	7	7
		延べ回数	/	125	125	125	125	124
-----			-----			-----		
実績	対象世帯数		5	12	5	7		
	延べ回数		30	130	55	69		
自己評価		/	A	A	A			

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

・対象世帯数、延べ回数とも見込み量を超えたものの、計画どおり提供体制を確保できている状況です。  
 ・養育支援が必要な家庭は多くありながら関わりを持つことが難しいのが現状です。児童虐待の早期発見・早期対応や発生予防には重要な事業であり、様々な方法を駆使して関係づくりを試みながら、事業を進めていきます。



子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H29年度)

担当課 健康増進課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(11)妊婦に対する健康診査
3 事業内容	妊娠中の異常を早期に発見し適正医療につなげるとともに、保健指導の実施により、安全・安心な出産と健全な育児に臨めるよう、必要な回数の健康診査の受診を促し、公費負担を行う事業 県内協力医療機関等への委託契約(県外受診は償還払)により実施
4 計画策定時の現況	母子保健対策として早期の妊娠届出を重視しており、妊娠11週までの届出実績は平成18年度の64.8%から平成25年度には94%に増加している。
5 計画内容	現行の提供体制により、今後の量の見込みを確保できる予定

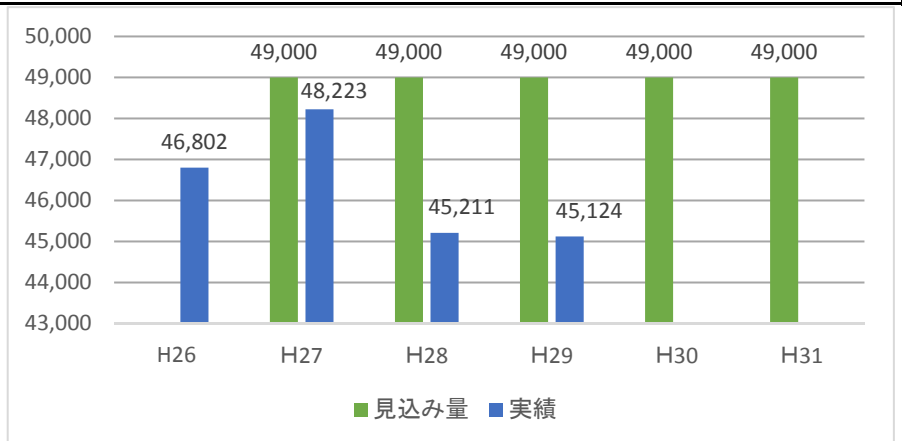
6 計画値と実績値

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計 画	量の見込み(健診回数)	/	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000
	対象人数	/	3,950	3,950	3,950	3,950	3,950
	受診票(回)	/	14	14	14	14	14
	受診票使用率	/	88%	88%	88%	88%	88%
実 績	妊娠届出件数	3,900	3,849	3,670	3,610		
	延べ受診者数	46,802	48,223	45,211	45,124		
	自己評価	/	A	A	A		

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

- ・平成27年3月31日厚生労働省告示の「妊娠に対する健康診査についての望ましい基準」に準じて妊婦健康診査の実施ができています。
- ・社会情勢を反映してか、年々妊娠届出数が減少しているため、今後の動向を注視したい。



## 基本施策に関連する業務活動

本計画では、第5章において基本目標を実現するための具体的な取り組みを示しています。これらの取り組みについては、第6章の推進体制で説明しているとおり、総合計画の評価体系として統一的な評価基準を持つ行政評価システムに基づくことを原則としています。（事務事業評価の詳細な結果は、市HP「岡崎市における事務事業評価の取り組み」より確認いただけます。）

<http://www.city.okazaki.lg.jp/1300/1301/1338/p011068.html>

本計画では、事務事業評価の分類体系と異なり、7つの基本施策に関連付けて取り組みを分類しています。次ページに施策類型別の評価結果をまとめたものを示します。

**【総合評価】**各評価項目により総合点を算定し、「A」から「D」までの4段階で区分しています。

区分	総合評価の考え方
A	今後も現状(計画・予定)どおり事業を進めることが妥当です。
B	事業内容や事業手法に改善を行う余地があります。より一層の効率化やコスト削減、成果向上に努める必要があります。
C	事業内容や事業手法の大幅な見直しが必要です。事業規模や事業主体など、事業内容の大幅な見直しに努める必要があります。
D	事業の廃止や休止、事業規模の大幅縮減など、事業のあり方について抜本的に検討する必要があります。
-	事務事業評価の対象となっていない事業、業務活動内容が経常型や進捗管理型に該当するもの※

※法令や条例により実施が義務付けられた業務(経常型)や大規模な施設整備、計画策定(進捗管理型)など単年度での効率や達成度を図ることが困難な業務は、総合評価の対象から除いています。



No	取り組み	担当部署	事業概要	参考指標	H27	H28	H29	単位	総合評価	実施方向性
基本施策1 地域における子育て支援										
1	家庭児童相談	家庭児童課	児童問題に関するあらゆる相談に応じ、児童相談所などの関係機関と連携し、子どもとその家族に対する助言・指導を含めた支援を行います。	家庭児童相談受付件数	622	678	749	件	B	継続
2	教育相談センター	学校指導課	小学生・中学生の学習・学校生活、家庭環境などに関する相談を行います。	そよかぜ相談室 相談件数 ハートピア岡崎 通所人数	2,990 61	2,825 64	2,967 67	件 人	A	継続
3	地域生涯学習講座開催支援	社会教育課	市民自身の企画により実施される生涯学習講座に、地域における児童の保護者を対象とする子育てに関する講座を加え、地域のニーズに合った生涯学習講座の開催を支援します。	開催講座数	136	133	129	講座	B	継続
4	家庭教育推進	社会教育課	あいさつ運動や「家庭の日」などの普及啓発や子育て講座の開催、家庭教育推進地区事業など、学校や地域との連携により家庭教育を推進します。	わいわい子育て講座参加率 家庭の日啓発ポスター応募数	95.2 663	78.5 607	89 633	% 点	B	継続
5	市民活動支援	市民協働推進課	市民活動の支援により市内の市民活動団体が活性化することにより、市民協働の推進を図り、市民力を活かしたより豊かな地域社会の形成を目指します。	市民活動団体登録数	565	560	551	団体	B	改善
6	保育園地域活動実施	保育課	世代間交流や異年齢児交流、育児講座などを開催します。	私立保育園実施園数 公立保育園実施園数	14 16	14 16	14 16	園 園	B	継続
7	民生委員児童委員協議会関連	地域福祉課	児童などの福祉に関する相談や援助、見守り活動や子育て支援サークル活動を含めた地域活動を行います。	委員一人あたり活動日数 民生委員定数	143.8 534	141.3 556	145.8 563	日 人	B	継続
8	健康増進普及啓発	健康増進課	健康推進員による保健活動の周知、疾病予防及び健康保持増進事業を実施します。	健康増進に関する普及啓発の回数 実施人数	498 24,281	501 28,100	501 33,379	回 人	B	継続
9	地域福祉活動費補助	地域福祉課	市民のかたの自主的な参加と協力により、地域福祉推進のため、子育て支援や安全安心を含めた地域の見守りを中心とした活動をします。	地域福祉活動団体数	46	46	46	団体	B	継続
10	子育て家庭優待事業	こども育成課	事業者、地域、行政との連携により、社会全体で子どもと子育て家庭を応援する取組みを進めます。	はぐみん協賛店舗登録数	254	203	267	店	-	-
基本施策2 母子及び乳幼児などの健康の確保及び増進										
1	妊婦・乳幼児健康診査	健康増進課	母子保健法などにに基づき、母子の健康の保持を目的に、妊婦、乳幼児の健康診査を実施します。	母子健康手帳の早期(妊娠週数11週までの)交付率 3歳児健康診査の受診率	94.6 98.3	94.6 96.8	94.7 98.2	% %	B	継続
2	妊婦・乳幼児保健指導	健康増進課	妊娠から出産後の育児支援まで相談や指導を行います。特定妊婦(若年、未婚、多胎、多産、遅い届出等)については、重点的に保健指導を実施します。	土曜窓口講座来所者数 ハイリスク妊婦の家庭訪問指導件数	854 353	873 375	1,053 268	人 件	B	継続
3	助産扶助	家庭児童課	経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し、助産施設において入院出産できるよう援助を行います。	助産援助数	8	7	4	件	B	継続
4	不妊対策補助	健康増進課	所得状況により、一般・特定不妊治療の治療費の一部を助成します。	特定不妊治療費補助成果 一般不妊治療費補助成果	39.5 16.9	46.2 11.6	52.5 15.7	% %	B	継続
5	食育推進	健康増進課	健康・食育だより、食育ポスターコンクール、食育教室などにより、食育の普及啓発を進めます。	食育だより発行回数 食育推進協働事業実施数	4 15	4 14	4 17	回 回	B	拡大・充実
6	学校給食の提供	総務課	食教育の充実を目指し、児童生徒が身体的にも精神的にも大きく成長する大切な時期に栄養のバランスのとれた学校給食を提供します。	延べ給食数	6,278,497	6,356,225	6,406,137	食	B	継続
7	薬物乱用防止啓発	生活衛生課	薬物乱用防止教室やその他の講習会、街頭キャンペーンなどにより、薬物についての知識を周知するとともに、薬物乱用防止を啓発します。	薬物乱用防止教室開催回数 街頭キャンペーン啓発資材配布数	35 8,980	42 9,483	37 11,040	回 個	B	継続
8	エイズ・特定感染症関連	生活衛生課	HIV感染症を中心とした性感染症の講習会を実施します。	ウイルス性肝炎検査受検者数 予防啓発講座の受講者数	106 1,764	105 1,876	122 2,169	人 人	B	継続
9	感染症予防啓発	生活衛生課	電話応対を中心とした性感染症の相談を実施します。	感染症情報ホームページアクセス数	2,513	2,549	2,221	回	A	継続
10	救急医療適正化対策	保健企画課	小児救急医療に関するリーフレットなどの作成・配布及び小児救急出前講座を実施します。	市民病院救急外来小児科受診者数 小児救急出前講座開催回数	4,721 17	4,330 9	3,882 11	人 回	B	拡大・充実

No	取り組み	担当部署	事業概要	参考指標	H27	H28	H29	単位	総合評価	実施方向性
基本施策3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備										
1	スポーツ大会開催	スポーツ振興課	市民スポーツ大会、1日スポーツ教室、市民駅伝大会等を開催し、広く市民にスポーツに親しむ機会を提供し、競技力の向上及び市民の健康の保持・増進、体力の向上を図ります。	駅伝・おかざきマラソン・一日スポーツ参加者数	8,022	7,760	7,603	人	B	継続
2	動物愛護啓発	動物総合センター	動物愛護精神の啓発、動物とのふれあいを通じて命の大切さを感じ学ぶことができる機会を提供します。	ふれあい教室等開催クラス数	61	70	62	クラス	B	継続
3	生徒市議会	学校指導課	中学生の質問に対し、市長や担当部長が答弁する模擬市議会を実施します。	参加学校数	20	20	20	校	B	継続
4	子ども会活動事業補助	こども育成課	子ども会活動の活性化を促すことにより、子どもが活動を通じて社会の一員として必要な知識、技能、態度を学び、かつ健全な仲間づくりを進め、心身の成長発達に大切な経験を得る機会を提供します。	子ども会活動団体数 安全共済会加入者数	342 31,248	330 32,861	325 33,877	団体 人	B	継続
5	少年消防クラブ指導・育成	消防本部予防課	少年及び幼年消防クラブの運営指導を行い、防火・防災思想の啓蒙を図ります。	防火作品応募数 幼年クラブ活動実施園数	286 65	267 72	274	枚 %	B	拡大・充実
6	こどもまつり開催	こども育成課	遊びや創作、体験等を通じて親子や自然とのふれあいを深めるイベントを開催します。	各コーナーへの参加者数	20,254	22,181	21,593	人	B	継続
7	ブックスタート実施	中央図書館	絵本を通して親子のふれあいを深められるよう、乳児とその保護者に絵本を手渡すブックスタート事業を実施します。また、さらなる体制の整備を図るため、ボランティアの育成を図ります。	ブックスタート実施者数	3,698	3,769	3,841	人	A	継続
8	児童読書活動支援	中央図書館	学校図書室にはない資料の提供、学級文庫図書の定期的な入れ替えを行い、児童の読書活動の推進及び朝の読書時間や各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援します。	資料貸出点数	91,576	95,190	89,613	点	B	拡大・充実
9	親子造形センター事業	地域文化広場	工作教室、粘土教室、絵画教室、EBアート教室の造形教室を開催します。	親子造形センター利用者数	87,788	77,333	79,963	人	B	拡大・充実
10	おかざき自然体験の森	環境政策課	おかざき自然体験の森のフィールドを利用して、各種自然体験プログラムを実施します。	おかざき自然体験の森施設入場者数 プログラム参加人数	19,029 2,509	14,625 2,053	14,220	人 人	B	継続
11	少年自然の家	少年自然の家	小学校・中学校の教育計画に基づく活動及び引率者のある少年団体を対象に、自然の中で集団宿泊生活の機会を提供します。	利用団体数 利用者数	54 16,615	52 14,912	85 14,174	団体 人	B	拡大・充実
12	姉妹友好都市交流	国際課	姉妹都市(アメリカ・ニューポートビーチ市、スウェーデン・ウッデバラ市)、友好都市(中国・呼和浩特市)の中学生との交流事業を実施します。	訪問団を受入れした件数 受入事業参加市民の人数	--- ---	--- ---	3 360	件 人	B	拡大・充実
13	外国語指導助手招致	学校指導課	外国語指導助手、小学校英語指導補助者を活用し、小中学生の実践的な語学力の向上と国際意識の高揚を図ります。	外国語指導助手配置校数 外国語指導助手配置人数	67 20	67 20	67 20	校 人	B	継続
14	特色ある学校づくり推進	学校指導課	特色ある学校づくり、開かれた学校づくりを推進し、より信頼された学校を目指す各学校の創意工夫ある教育活動を支援します。	事業実施校	67	67	67	校	B	継続
15	科学技術・理科教育振興	学校指導課	小中学校理科作品展、自然科学研究機構の出前授業・国研セミナーなど児童生徒の科学への探究心を満たす機会を与え、科学的リテラシーの更なる伸長を狙うとともに学術機関と連携した理科教育のあり方を先進的に取り組むことにより、市内小中学校の理科教育のレベルアップを図ります。	理科作品展参加人数 理科作品点来場者数	18,100 7,642	17,421 7,729	17,323 7,325	人 人	B	継続
16	スーパーサイエンススクール推進	学校指導課	市内小中学校から、スーパーサイエンススクールを指定し、自然科学研究機構や特色ある理科教育を推進する高等学校、企業、地域人材との連携を図り、児童生徒の科学的リテラシー向上をめざします。	連携した機関数 実施した行事回数	24 42	39 52	45 53	箇所 回	B	拡大・充実
17	タブレット型情報端末導入	総務課	指導用ICT機器(タブレット型情報端末)を導入し、児童生徒による意欲的な学習への取り組み、基礎基本の定着と自己表現力の向上をめざします。	実施した授業回数 授業を受けた児童生徒数	540 11,109	540 10,876	540 10,758	単元 人	B	拡大・充実
18	ホテル学校管理運営	環境政策課	環境保全意識の高揚を図り、一人ひとりが自然との共生を考え、行動することができるよう、ホテルを通じた環境教育及び環境学習を推進します。	ホテル学校入場者数 イベント開催回数	11,230 52	14,892 88	12,711 74	人 回	B	継続

No	取り組み	担当部署	事業概要	参考指標	H27	H28	H29	単位	総合評価	実施方向性
19	自然共生普及啓発	環境政策課	地域の中で、地球環境を守るためのさまざまな活動を行う「こどもエコクラブ」への登録促進を図ります。また、キットの配布やイベントなどの情報提供を実施し活動を支援します。	自然観察会の開催数 自然観察会の参加者数	39 897	39 727	35 753	回 人	B	拡大・充実
20	地球温暖化防止活動支援	環境政策課	自ら地球温暖化防止の重要性を理解し、防止活動に取り組めるように、地域協議会「岡崎市地球温暖化防止隊」による学校、地域への出前講座、夏休み親子教室、わくわく省エネ体験教室の開催等の地球温暖化防止啓発活動を行います。	地球温暖化防止隊会員数 地球温暖化防止活動参加者数	121 1,649	104 2,426	95 511	人 人	B	拡大・充実
21	ESD研究推進	学校指導課	小学校1年生から中学校3年生までの9年間を系統的に結びつけた「岡崎市環境学習プログラム」に基づく環境学習をはじめとした「岡崎の三本柱」(ESD)の研究を推進し、児童生徒の未来に向けて行動する力を育成します。	環境プログラム実施校数	67	67	67	校	B	29年度まで
22	水に関する市民啓発	上下水道局 総務課	小学生社会科見学や親子水道教室などを活用して、水の大切さ、水道水の安全性や水源保全活動の重要性について周知啓発を図ります。	イベント参加者数 市政だより掲載回数	1,614 2	1,916 3	2,628 3	人 回	B	継続
23	総合検査センター見学会等開催	総合検査センター	「夏休みこども教室」「施設見学会(かがくフェスタ)」等の開催を通じ、環境、生活衛生、繊維の検査に関する周知、環境保全や保健衛生に対する関心の向上を図ります。	見学会等参加者数 参加者満足度	578 97.8	649 96.9	725 95.6	人 %	B	継続

#### 基本施策4 子育てを支援する生活環境の整備

1	放課後児童健全育成事業費補助	こども育成課	保護者が就労しているなどの理由で、留守家庭となる子どもの居場所を確保するために、市が定める基準に沿い適正な運営をする民間児童クラブに対し、運営費補助を行い、事業の安定を図ります。	民間児童クラブ数 民間児童クラブ利用者数	9 402	8 357	8 376	館 人	B	継続
2	こどもの家管理運営	こども育成課	学区こどもの家において児童に遊びの場を提供します。	学区こどもの家施設数 学区こどもの家利用者数	42 815,524	42 835,355	43 824,376	館 人	B	拡大・充実
3	放課後子ども教室実施	こども育成課	小学生が放課後に過ごせる活動拠点として放課後子ども教室を整備し、地域の方の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動を通じた交流活動を促進します。	放課後子ども教室開催施設数 利用者数	21 270,804	28 406,558	33 436,857	館 人	B	継続
4	中央図書館管理運営	中央図書館	中央図書館をはじめ地域の図書環境の整備・充実を図るとともに、子どもにとって充実した読書環境となるよう、資料の充実と提供、子どもが楽しめるイベント等の事業を実施します。	図書館入館者数 図書貸出冊数	1,328,000 1,875,078	1,314,736 1,724,368	1,286,343 1,678,499	人 冊	B	継続
5	こども自然遊びの森管理運営	環境政策課	子どもたちがのびのびと自然遊びができる場所を提供します。	こども自然遊びの森入場者数 プログラム参加人数	14,204 1,696	15,438 1,646	20,593 1,667	人 人	B	継続
6	民間児童クラブ利用者育成料補助	こども育成課	民間児童クラブを利用する保護者に対し、利用料の一部を助成します。	民間児童クラブ利用者育成料補助対象者数	4,030	3,510	4,070	人	B	継続
7	私立高校等授業料補助	総務課	授業料補助を行い、公私立学校間における授業料負担の格差是正を図り、教育の機会均等の原則を確保します。	補助対象者数	1,847	1,881	1,846	人	B	継続
8	子ども医療助成	医療助成室	中学校卒業までの子どもを養育しているかたに対し、医療費自己負担分を助成します。	一人あたり給付額(月額) 一人あたり受診率	2,750 118.8	2,884 123.6	2,878 121.5	円 %	B	継続

#### 基本施策5 職業生活と家庭生活との両立の推進

1	男女共同参画講座・講演会開催	男女共同参画課	女性の雇用形態や父親の育児に参加しやすい働き方など、企業や社会全体で取り組む「ワークライフバランス」を推進するため、男女共同参画推進講演会、講座等を開催し、男女共同参画社会形成に対する正しい理解と、具体的な活動の機会を提供します。	情報誌発行数	10,000	10,000	10,000	部	B	継続
---	----------------	---------	---	--------	--------	--------	--------	---	---	----

#### 基本施策6 子どもの安全の確保

1	小学校通学バス運行	学校指導課	額田地区における遠距離通学児童の通学の安全と利便を図るため、地域のコミュニティバスの走らない時間帯、土日祝日行事に対応するため、民間委託による通学バスを運行します。	通学バス利用対象人数	70	84	83	人	B	継続
2	交通安全指導	安全安心課	市民の交通安全意識を高めるための交通安全教育を、地域や幼稚園・保育園、老人クラブ等と協力して行います。	交通安全教室実施回数	151	171	172	回	B	継続
3	交通少年団育成補助	安全安心課	子どもを事故から守る地域運動として、小学生のうちから交通安全意識を高める活動を推進しています。	交通安全啓発活動参加回数	10	10	10	回	B	継続

No	取り組み	担当部署	事業概要	参考指標	H27	H28	H29	単位	総合評価	実施方向性
4	青少年健全育成啓発	社会教育課	青少年の健全育成について「青少年は地域社会で育む」という意識を醸成するため、国、県と連携して啓発活動を行います。	街頭啓発活動実施回数	3	3	3	回	B	継続
5	生活安全推進	安全安心課	市・警察・地域の連携による一体となった防犯体制の構築、市民一人ひとりの自主防犯意識向上による犯罪の起きにくいまちづくりをめざし、小学生への防犯ブザーの配布、小学校等での防犯教室、不審者侵入訓練の開催等、各種の事業を推進します。	刑法犯罪認知件数 防犯講座等の開催数	2,759 37	2,451 36	2,594 40	件 回	A	継続
6	少年愛護センター管理運営	社会教育課	少年の問題行動、非行防止のための街頭補導や青少年に対する助言・相談・指導を行います。	街頭補導活動数 街頭啓発活動実施回数	551 3	569 3	569 3	回 回	B	継続
7	不登校相談	学校指導課	不登校の児童生徒やそれに悩む保護者や学校関係者に対し、教育相談センターの臨床心理士等と適応指導教室である「ハートピア岡崎」が連携し、不適応を起こした子どもたちが、再び元気を取り戻し、学校生活に戻ることができるように支援を行います。	ハートピア岡崎登録児童生徒 学校復帰率 不登校関係相談件数	80 1,804	53 1,863	46.3 2,009	% 件	B	継続
基本施策7 困難を抱える子どもや保護者へのきめ細やかな取り組みの推進										
1	遺児手当支給	こども育成課	両親または父親もしくは母親がいない児童を養育している人に対し手当を支給します。	遺児手当対象児童数	52,431	51,972	50,598	人	B	継続
2	母子家庭等相談	家庭児童課	自立に必要な情報提供や指導等の支援を行います。	母子家庭等相談件数	913	1,034	810	件	B	継続
3	母子家庭等医療費助成	医療助成室	ひとり親家庭などの父または母と子に、医療費の自己負担分を助成します。	一人あたり給付額(月額) 一人あたり受診率	3,366 100.3	3,400 105.2	3,343 102.8	円 %	B	継続
4	母子家庭等自立支援教育訓練給付金	家庭児童課	就業のための教育訓練給付の指定講座を受講した場合に、受講費用の一部を支給することにより、就業を促進し、経済的自立を支援します。	給付金受講対象講座の受付人数	1	3	11	人	B	拡大・充実
5	母子家庭等高等職業訓練促進	家庭児童課	就業に有利な看護師、保育士などの資格取得を促進するため、2年以上の養成機関で修業する場合に、高等職業訓練中の訓練促進費を支給します。	制度を利用し就業した人数 就業率	4 50	4 66	6 85	人 %	B	継続
6	母子生活支援施設措置委託	家庭児童課	主にDV被害を受けた母子を、他市の母子生活支援施設に入所させ、安全かつ健全な養育環境の確保を図るとともに、母親の自立促進のための生活支援や子どもの心のケアを行います。	措置延月数	51	90	90	月	B	継続
7	母子施設管理運営	家庭児童課	居所の喪失などにより養育環境に問題がある母子、DV被害を受けた母子を施設に入所させて保護し、子どもの養育支援や自立に向けた生活、就労支援を行うため母子生活支援施設を設置しています。	母子生活支援施設利用世帯数 母子・父子福祉センター利用者数	226 7,840	222 8,174	230 ---	世帯 人	B	29年度まで
8	特別支援教育推進活動事業	学校指導課	障がいのある子どもの就学前から中学校卒業までを見通した教育支援体制を整え、関係機関との情報・行動連携を図ります。	そよがぜ相談(就学関係)相談件数	327	307	364	件	B	継続
9	障がい児通所支援 障がい児相談支援	障がい福祉課	障がい児に、児童福祉法に基づく障がい児通所支援(児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、及び保育所等訪問支援)及び障がい児相談支援の安定したサービス提供ができるよう推進します。	児童発達支援 医療型児童発達支援 放課後等デイサービス 保育所等訪問支援 障がい児相談支援	328 11 625 7 173	398 11 739 4 189	473 11 910 4 195	人 人 人 人 人	-	-
10	子ども発達サポート	健康増進課	小児科医師・保健師・臨床心理士などが発達・発達・子育てなどに関する相談に応じます。	専門相談の件数 関係機関との連絡調整件数	43 11	51 7	---	件 件	B	28年度まで
11	障がい者医療助成	医療助成室	心身障がい児(者)の医療費の自己負担分を助成します。	一人あたり給付額(月額) 一人あたり受診率	15,591 192.8	15,490 194.3	15,381 194.7	円 %	B	継続
12	発達遅滞児支援	健康増進課	言語や社会性等の発達に遅れや不安がある子どもとその養育者に対して、早期に子どもの発達に合わせた保健指導を実施することで、子どもの適正な発達及び円滑な社会生活を促します。	初回参加年齢が2歳6か月未満の割合 健診診査事後の訪問指導件数	100 191	100 212	---	% 件	B	28年度まで
13	日本語教育講師派遣	学校指導課	日系及び外国籍児童・生徒の日本語教育のための講師を派遣します。	日本語教育講師派遣回数	2,394	2,646	3,366	回	B	継続
14	外国人相談	国際課	日本語能力が不十分な外国人家庭を対象に福祉、教育、税といった社会生活を送るうえで重要な行政手続きを補助するとともに生活全般にかかる相談に応じます。	本庁英語・中国語対応相談件数	1,850	1,750	1,517	件	B	継続

## 計画の点検・評価について

計画の進捗状況について、岡崎市子ども・子育て会議において点検・評価を実施しました。

主な質問・意見と市の回答は次のとおりです。

【会議開催日：平成30年9月25日（火）】

### 1-1 保育事業

幼保連携型認定こども園の2号認定の子どもをどのように確保していますか。

昨年度は、こども園へ移行して1年目であったため、年少のみ定員としました。今年度は新たに定員を増やす予定です。段階的に利用者数が増えるよう入園の案内をしています。

南部乳児保育園はどんな様子ですか。利用者の声はどのようなですか。

南部乳児保育園の当初の申込みは39名でしたが、随時受付をしており、9月1日現在で40名となっています。来年度の募集は9月25日より開始しています。園長によると、多くの利用者から「駅が近くて交通の便が良い」という声があるそうです。

### 2-1 時間外保育(延長保育)事業

早朝・延長保育のパートタイマーはどのように募集していますか。資格や免許の取得者ですか。

早朝・延長保育のパートタイマーは、保育士の資格取得者が望ましいですが、有資格者の確保は難しいため、支援員研修を受講して支援員資格を取得した方も雇用しています。

支援員の研修で学んだことは、現場に上手く活かされていますか。

活かされています。

### 2-4 利用者支援事業

コーディネーターは、資格や免許の取得者ですか。どのように関係機関と連携していますか。

コーディネーターは専門員の資格取得者です。地区子育て支援センターに相談があった際は、総合子育て支援センターの職員と打合せをし、利用者が受けられるサービスを即座にお知らせしています。また、実際に利用したいサービスを聞き、本人の同意が得られる場合は、利用者の情報をその場で関係機関に伝え、利用者が再度同じことを言わなくて良いようにしています。

同行支援はありますか。

基本的には同行していませんが、年齢により保健師が同行する場合があります。

### 2-5 病児・病後児保育事業

ワーキンググループを始めたとのことですが、事業の見込み時期は決まっていますか。

話し合いを始めたところで、具体的なことはまだ決まっていません。

### 2-6 放課後児童健全育成事業

緑丘学区の待機児童についてどう対策しますか。

市営住宅平地荘、五本松住宅の建替えの予定に合わせて、一体的に放課後児童クラブの整備をする予定です。

「放課後児童クラブが狭くて、子どもが行くのを嫌がったため仕事の形態を変えた」、「酷暑でこどもの家が使えない日が続く、あまり動けない夏休みを過ごした」などの声があります。現場の状況を把握して対策していますか。

豊田市の事例もあり、今年は気温が35℃を超える場合、こどもの家のレクリエーション室は利用禁止としてエアコンのある造形図書室で過ごしてもらいました。需要の高まりに供給が追いついていないと認識していますが、すぐに対策を講じることは困難な状況です。

エアコンの設備はどうか。

限られた予算の中で小中学校のエアコンの設置が進められているところであり、現時点では検討しておりません。

量の確保と同時に、質の確保は当初から議論されてきたことです。量を確保できても、子どもたちの居心地の悪い空間ではいけないと思うので、改善を図ってほしいと思います。

学校から学区こどもの家へ直接行くかばん下校の際、「宿題禁止と言われ、子どもが帰ると遊び疲れてしまって宿題が手につかない。」という声を聞きます。このことについてどう考えますか。

宿題がきっかけで子ども同士の大きなトラブルが起きたことなどにより、宿題を禁止していると聞いていますが、地域や状況に合わせて見直していきたいと思います。ただ、全ての保護者の方の御要望に応えることは難しいと考えています。

各地域で保護者と職員で相談し合えば良いと思います。専門的に学習を扱うことは難しいため、学習時間の確保は難しいと思います。また、子ども同士のトラブルは、学校でも帰宅後でも生じうるため、常に意識すべき問題だと考えます。

## 2-9 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)

訪問実施数が訪問対象乳児数より少ないですが、この51名をどのように追跡していますか。

訪問できなかった家庭は、年度末に対象だった家庭が多く、大半は年度が変わってから訪問しました。訪問できなかった数件は、保健所の健診などで追跡しています。

訪問率の98.2%を、多いととるか少ないととるか、どうですか。

全国平均は95.8%、愛知県平均が97.4%ですので、高いと考えています。

## 2-10 養育支援訪問事業

あるお母さんから「子どもに特に発達等の問題はないが、乳幼児期から訪問してもらっている。」と聞いたことがありますが、養育支援訪問事業はどういう家庭が対象ですか。

要保護児童対策地域協議会で話し合い、必要と判断した家庭に対して訪問しています。そのお母さんのおっしゃる訪問が養育支援訪問事業かどうかは判断できかねますが、何らかの形で市が関わっているのではないかと考えます。

要保護児童対策地域協議会が「問題あり」と判断した家庭に行くということですか。家庭から希望があって応じることなどはありますか。

専門職訪問では、家庭児童課の職員が月に1回程度、養育する能力の低い家庭に訪問し、援助や助言をしています。御家庭から希望があることはほとんどありませんが、希望があれば訪問することが可能です。



おかざきっ子 育ちプラン  
(岡崎市子ども・子育て支援事業計画)  
平成29年度 進捗状況報告書  
平成30年10月 編集・発行

〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地  
TEL : 0564-23-6798 FAX : 0564-23-6833  
Mail : kodomo@city.okazaki.lg.jp